

114
A 4402
8



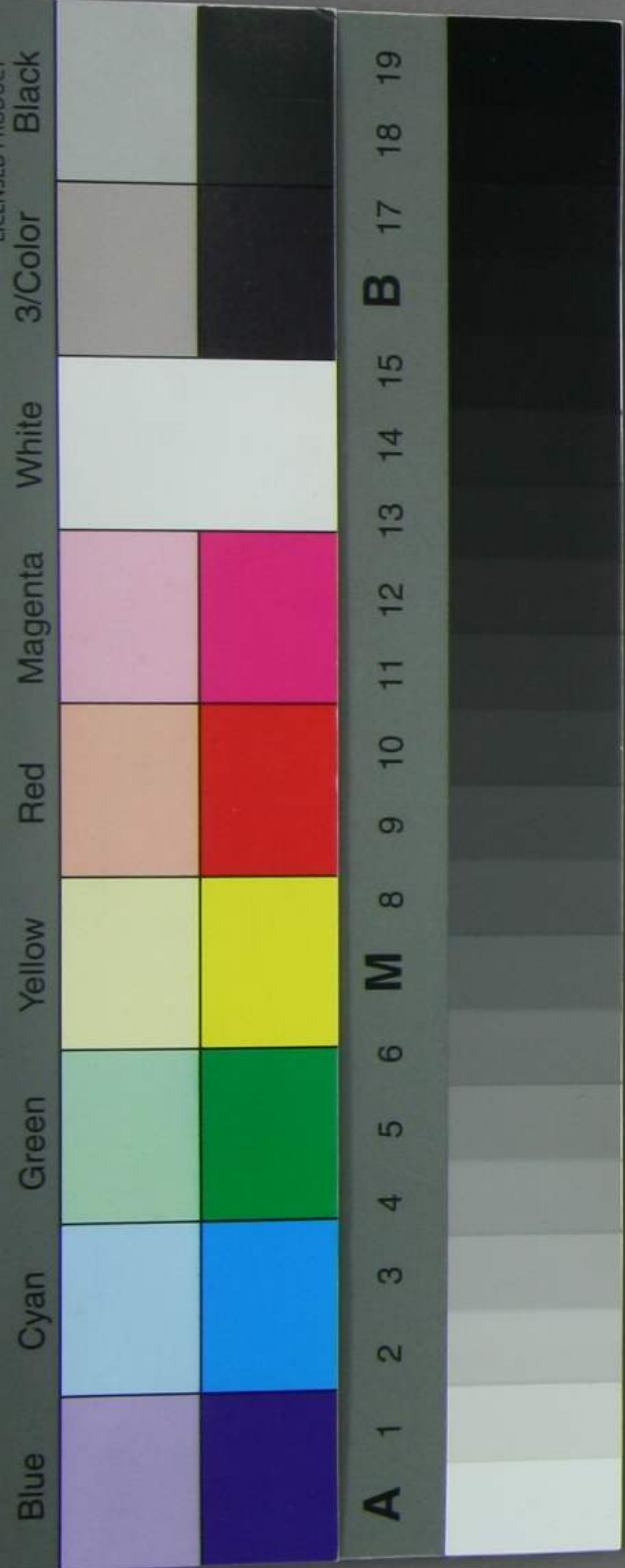
ホアツナード氏第二十二回講義
作人ノ権ニ就テ為ニ要用ナル三個ノ状態アルニ告知セ

レノ諸君ノ知ル所ナリ我輩既ニ其工作人タル諸羈絆ノ制限ヨ
リ脱離セザンバアル可カラヌ又タ傭使ノ事件ニ齊シク自白ヲ
得ズンバアル可カラヌ而シテ其工作人タル天然力器械及道具
ヲ用ヒザルヲ得ザルヲ見タリ

我輩今ヤ此状態ノ第三即チ勞力分派ノ條ニ至レリ

物ヲ産スルノ即チ吾人ノ需要ニ供スル諸物品ノ形状ヲ變化ス
ルノ付テ用ル所ノ都テノ労カハ實ニ合複セリ而シテ其勞
カタルヤ一組又ハ數組等數多陸續シタル取扱ニ精カヨリ成
立チタルモノナリ右ハ一人ニテ兼テ等々ノ陸續シタル仕事
ヲ成就スルヲ得ヘシト然レモ工作人ノ天賦ノ智ニ由リ先
ニ受負人ノ練熟スルニ從ツテ右取扱ノ事件ヲ分派スルニ至レ

大正十一年四月
隈五郎 贈月



此際ニ於テル労働力分派ノ語古來襲用スル有ルニ非カンバ余ハ
作業分派ト云フノ語ヲ用ユベシナリ

勞カ分派ハ尚ホ次条ノ模様ニ關シテ起ルモノトス

第一國ノ開化ノ程度

第二作為スベキ労働力ノ性質

人間社會ノ始メニ於テハ人口多クテ而シテ技術進歩シタル
最良ノ製造物モ亦タ世ニ出テサズシ又タ賃銀ヲ以テ職人ヲ備
使スルヲモアラザリシ此際ハ人各々其自家親族ノ為ニ直チニ
自ラ手ヲ下シテ労働セリ或ハ適宜ノ結果ヲ得ンガ為ニ多少其
妻ノ助ケヲ以テ種々ナル取扱ノ組合ヲナセリ又一家ノ主人ハ
自カラ其器械舟艇魚網祖大ノ荷車ヲ製シ又更ニ地ヲ耕シ種ヲ
下シ且ツ開墾等ヲナシ及ヒ其小屋ヲ作り自家ノ家具ヲ製作セ

リ

輓近人口ノ繁殖スルニ隨テ労働力ノ最要ナルモノ一家ノ職業ト

ナリ分派シタル職業トナレリ然レモ是レ尚ホ未タ勤労働力分派

ト云ヒ難クシ只タ職業ノ分派ナリ職業分派ノ事タル人口ノ繁

殖ニ由リテ生スル丁其確實ナル証跡ハ小市ト大都トノ比較ニ

於テ觀ルベキナリ小市ニ於テハ同一ノ人ニシテ種々ノ職業即

チ種々ノ高業ヲ同時ニ兼為セリ即チ大工ニシテ或ハ指物屋ヲ

ナシ屋葺匠ニシテ或ハ壁工ヲナシ雜貨商ニシテ紙ヲ高ク縮布

毛布ヲ賣リ又タ葡萄酒ヲ賣リ且ツ屠者トナス者アリ

大都ニ於テハ諸事物皆區別アリテ特トニ區別シタル諸種ノ職

業矣賣買ヲ同一ノ手ニ取行ハルノミナラス猶又タ各高業ニ

於テモ各職業ニ於テモ眞實ノ為メヨリモ却テ多ク家業ノ為メ

ニ殊ニ新奇ナル専門ノ品類ヲ製スルアリ

談職業分派ノ事タル工業ニ比スレバ耕作ニ於テハ其派数多カ
ラザルアリ殊更以耕作ニ関シテハ尤モ然リ地ヲ耕スノ人ニシ
テ種々下シ葡萄ノ蔓ヲ調度シテハ葡萄ノ実ヲ收納シ或ハ之ヲ
壓搾シテ葡萄酒ヲ醸成スルアリ其遂ニ此等種々ノ取扱ヲ區別
スルニ至ルハ以上ノ事由夙ニ其原因ルハ疑ヲ容レザル所
ナリ
盛大ナル耕作ニ於テハ産物ノ数モ夥多ニシテ又タ其品位モ貴
重ナレバ職業ヲ分派セザルヲ得ザルヤ必セリ之ニ由テ其業ヲ
分守スル職人アリ即チ某人ハ獨リ土地ノ仕事ニノミ從事シ又
タ某人ハ牛馬ノ事ニノミ從事シ或ハ更ニ水車ニ從事シ或ハ市
場ニ運輸スルニ從事スル人アリ或ハ穀物ヲ打ツニ從事ス
ル人アリ
又主人アリ獨リ主管者ニ任シ且ツ時アリテハ給料ヲ拂フテ其

主管者ヲ傭ヒ之ヲ使役スルヲアリ然レハ小活計ノ家業ニ於テ
ハ主人自ラ賣リ且ツ自ラ其物品ヲ轉換シ又タ彼自カラ記
簿ヲナシ及ヒ回復按ニ轉換ノ節損失額ニ付テ云フヲナス而シテ其妻之ヲ助
ケルナリ
若シ商業盛大ノ片ニハ茲ニ簿記スル者アリ賣買ヲ掌トル番頭
アリ、品物ヲ持届ケル人アリ而シテ時トシテ運輸ノ為ニ自家ノ
馬車アリ右ノ有様ニ於テスル商業ハ其取扱中危険奸計其他避
クベカラザルノ災難アルニ非ザレバ永久ノ繁昌ヲ取ルヤ必マ
リ
工業ニ於テハ其職業ヲ分派スルニ上ニ論スル所ヨリモ一層甚
シトス
工業上ノ物体多クハ種々ノ物質ヨリ成ルモノナリ例ヘバ材木
鐵銅及ヒ石物等ノ如シ茲ニ於テ労力ノ種々齊シカラザルニ隨

專業ノ家アルハ明子^リ而レテ右ノ如キ物品ヲ其專業ノ家
ニ於テ名別ニ製造シ而^テ之ヲ一處ニ調置スルナリ例ハ舟船
馬車運送車及^テ機械等ノ如キ是レナリ
茲ニ至ルマデハ經濟上ニ付テ勞力ノ分派ニ於テ爾顯象ヲ舉^テ説
スルモ猶未タ其肝要アルヲ見ガルベシ^トツ取扱ヲ分派スルモ
其物品ノ品柄ニ從^テ之ヲ分派スルノミ而レテ猶未タ智識ヲ
ル注意ヲ要セザリシ^トリ右勞力分派ノ顯象タル勞力ヲ逐次分
派シテ但^シ其一物上ノミニ付テ動作シ^テ寔早是レヨリ以テ分派
スベカラザルノ境ニ處シテ始メテ其妙ヲ見ルベキナリ^ト一物ニ
レテ種々ノ手ヲ經歷シ從^テ諸職工等各々之レニ種々ノ形^ヲ与
ヘリ此ヲ以テ職工ノ輩ハ其仕事殊ノ外巧妙快手ヲ益シ從^テ所
産ノ道速カニナリ産額巨大ニ至レリ今余鍵ヲ以テ一例ヲ舉^ゲ
シ此物タル最モ單簡ニシテ其取扱ノ疊級ニ於ケル僅々タルモ

ノ中ノ一物タルハ吾人ノ能ク知ル所ナリ
甲ノ職工アリ鍵ヲ取リ鍵ヲ鍛^フ乙ノ職工之ヲ鑽^シ丙ノ職工截
痕ヲ作り丁ノ職工之ヲ鎖^ノ内部ニ於ケル活動ニ適セシメ
戊ノ職工之ヲ琢磨セリ若^シ斯ノ如キ方法ニ由リテ只タ一個ノ
鍵ヲ製スルニ種々ノ手ヲ用^ヒバ無論其利ナカルベシ然レハ一
般ニ此法ニ由^レバ時間ハ同一ニ^シテ其産スル所大数ナルヲ以
テ利ヲ享クル^ト居多ナルベシ
アダムスミス氏著ハス所ノ書中勞力分派ノ事ヲ提ケ之ヲ簡明
ニ論セリ即チ留針製造所ニ於テ留針ヲ製スル^トニシテ頗ル有
名ナル譬喩ナリトス又^シジョンバフチストレイ^{佛國ニ於テ有名}
ナル經濟學者ノ一人^ガ賭博紙牌ヲ製スル^トニ付テ右同様ノ事
件ヲ思慮セル^トアリ^テ勞力分派ノ説ヲ唱フル人ハ皆奇々妙々ニ
シテ人意ヲ感激スル証例ヲ舉ケガルハナシ

「ダム、スミス氏ノ著書」右ノ譬喩ニ付テ左ノ如ク之ヲ説ケリ
職工ガ初メテ銅ヲ鑛山リ掘出シ、次ニ鉄銅ヲ鑄造所ニ輸送シ
此處ニテ鉄銅ヲ錫ト混シ線状トナシ針トナルベキ韌性ヲ得セ
シメ而シテ之レヲ板器械線ヲ曳キ通ス板ニカケテ曳キ通シ而
シテ後ヲ職工ヲシテ適宜ノ長短ニ於テ之ヲ截断セシム。製針ノ
業茲ニ始マレリ

甲ノ職工右截線ノ一端ヲ鑿尖シ、乙ノ職工更ニ他ノ一端ヲ調造
シテ針ノ首領ヲ貼スルニ適セン。丙ノ職工ハ此針ノ首領ヲ造
リ、丁ノ職工ハ此首領ヲ貼シ、戊ノ職工ハ此針ヲ琢磨ス。

「アダム、スミス」氏又十人ノ職工ニ十八個ノ仕事ヲ割付クル（即カ
分派ルベシト）ノ算ヲ為セリ。即チ一人ニシテ一物ヲ製スルハ一
日ニ僅カニ十五個ノ針ヲ製出スルニ過キザレ。若シ勞カ分派
ノ法ニ因リテ更ニ十人ニシテ一物ヲ製スルハ五萬個ノ針ヲ

製出スルニ至ルベシ是レ即チ一人ニ付テ五千個ヲ製造スルノ
割。若シクハ一人ニシテ一物ヲ製スルヲヨリハ二百倍ナリトス。
當今ノ日ニ在リテ更ニ完備ノ器械ヲ使用スルニ付テハ更ニ十
人ノ職工ヲ以テ一日ニ右陪數ヲ再ヒ重複シ得ヘシ。即チ十人固
（四百陪）ヲ製スルモ難カラザルナリ。
「ジェーン、バプチスト、レイ」ガ賭博紙牌製造ニ付キ例示セシ條ニ拠
レバ其料紙及ヒ著色ヲナスノ外ニ七十個ノ工事ヲ算セリ。一人
ニシテ之ヲ製スレバ一日ニ付テ只ク十五個ヲ製スルモノ。十人ニ
シテ之ヲ製セバ五千個（百陪）ヲ製出スベシ。然レモ我輩今日ニ在
リテハ器械ノ進歩ニ付テ十人ノ職工ニ籍リテ製造セシ數ヲ重
復（二百陪）スル亦タ難カラザルナリ。
我輩上論ニ付テ數多ノ例ヲ舉説スルト固ヨリ容易ナリ。
我輩勞カ分派スルトニ於テ下條ノ件々ヲ見ル

天 義 首

第一 時刻ヲ節省スル事。是レ職工ヲ變換スルナク又ハ其器械位
置及ク運動等ヲ變換スルナキニ由リテ

第二 職工ノ能ク出来ル事。是レ職工ノ快手其他ニ由リテ

第三 諸工事ニ於ケル工人ノ天賦ノ性及ク年齢ニ從テ分ツモノ
アリ

第四 諸事皆ナ固著財本及ク流通財本ヲ使用スルテ陸續間断ナ
キニ由ル

勞カ分派ハ右ノ如ク其レ利アリト雖モ之ヲ排斥スル人アリ曰
ク勞カ分派ノ職工ハ身自カラ化シテ器械トナリ其精神考想隨
テ一個ノ事業ニ固著シ氣血凝滯シテ疾病ヲ生スル等ノ弊察ア
リト

答辨者アリ曰ク勞カ分派ノ職工等ハ其世間ニ有益ナルニ由リ
自然高俸ヲ得ルヲ以テ自カラ生ヲ撰スルノ道ヲ得テ燕閑ノ時

ニ於テハ須要ナル運動按ニ重馬後行唯ヲナシテ健康ヲ全フシ
氣カヲ保ツヲ得ヘキナリト

結末ニ臨ンテ猶ホ一言スルニ勞カ分派スレバ產物ヲシテ夥
多ナラシメ精良ナラシメ低價ヲラシムルヲ以テノ故ニ右分派
ノ事タル遍ク生産上ニ付テ其裨益スル所感シナリト云フヘキ
ナリ

右分派ノ顕象タル日本ニ於テ既ニ世ノ知ル所トナリシト雖モ
然モ未タ充分ノ處ニ至ラザリシナリ

右分派ノ事ニ付キ日本職人ノ無智ナルヲ日トシテ其例ヲ目撃
セザルハナシ殊更ニ道路ヲ修覆スル為ニ土塊ヲ運輸スルノ如
キハ其尤ナルモノナリ

況ノ講義ニ於テハ余輩產物ニ於ケル才智ヲ要スル所ノ勞カノ
基礎ニ論及スヘシ

